

過去および現ゼミ生の論文タイトル

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金沢大学人間社会学域経済学類社会言語学演習 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/37448

過去および現ゼミ生の論文タイトル

<2001年卒業生（第1期生）>

【卒業論文】

加藤 千佳 「『会う』VS『逢う』 —漢字から受けるイメージと使い分け—」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2001, pp.37-48）所収

佐渡 智美 「現実と非現実の性差—小説から見えるもの—」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2001, pp.23-35）所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23512>

<2002年卒業生（第2期生）>

【卒業論文】

佐藤 千馨 「日常言語の可能性について」

茅根 滋 「経済的観点から見る日米ヒット曲の歌詞構造とその法則性」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2002, pp.83-96）所収

森 大介 「上手な皮肉の使い方—小泉保の三つの分類から—」

山田 均 「街にあふれるコトバについての考察」

山本 明奈 「学校における呼称」

山本 幸恵 「雑誌の中に見る性差」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2002, pp.97-111）所収

渡辺 敬太 「現代の若者における『やさしい』とは」

上記のうち『学生論集』掲載論文はつぎのサイトでダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23511>

< 2005 年卒業生（第 3 期生） >

【共同論文】

網田 百合香

山崎 瞳

ユーリア・ケールマン（研究留学生）

『『生茶』は生か？』

…金沢大学経済学会『学生論集』（2004, pp.1-9）所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23510>

【卒業論文】

網田 百合香

「TV ショッピングにおける説得方法の日米比較」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2005, pp.89-101）所収

山崎 瞳

「非言語の壁—美容室でのコミュニケーションから—」

…金沢大学経済学会『学生論集』（2005, pp.15-30）所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23509>

< 2006 年卒業生（第 4 期生） >

【共同論文】

磨矢 順子(代表)「しつけ言葉から探る『理想的』人間像」

(平成 16 年度学長奨励費研究)

…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 1 巻(2006, pp.1-26)所収

…『平成 16 年度学長奨励費研究結果論文集』(2006, pp.35-40)所収

【卒業論文】

磨矢 順子

「しつけ言葉から探る日本人とドイツ人の行動基準」

…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 1 巻(2006, pp.27-64)所収

< 2007 年卒業生（第 5 期生） >

【共同論文】

小長谷 春奈・佐藤 まりか・田中 千尋・堀田 真利

「ステッカーから見る『物言わぬ日本人』」

…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 1 巻(2006, pp.65-80)所収

- …『平成 17 年度学長奨励費研究結果論文集』第 2 号(2006,
pp.44-51)所収
…金沢大学経済学会『学生論集』(2006, pp.1-10)所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23508>

【卒業論文】

- 小長谷 春奈 「女性の話し言葉に対する社会の圧力の変化」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 2 卷(2007,
pp.31-46)所収
- 田中 千尋 「『私、ホントに結婚できるのかしら?』 —『読者』は
表紙コピーと会話する—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 2 卷(2007,
pp.47-63)所収
- 堀田 真莉 「『信頼を裏切り申し訳ありません』 —謝罪会見記事から
みる職業と人格—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 2 卷(2007,
pp.65-84)所収

<2009 年卒業生 (第 6 期生) >

【個別研究】

- 鍵主 智美 「お母さんわたしと太郎君なほく —日本語教科書におけ
る男女表現について—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 3 卷(2008,
pp.1-17)
- 鍵主 智美 「『やさしさ』の意味変化 —辞書記述に基づく語義分析—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 3 卷(2008,
pp.19-35)

【卒業論文】

- 鍵主 智美 「国語教科書と日本語教科書の比較 —ジェンダーの視点か
ら—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 4 卷(2009,
pp.1-24)所収

< 2014 年卒業生（第 7 期生） >

【共同研究】

- 中村 明修 「金沢市中心街の言語景観 ——観光地・商業地・市役所の調査——」（横田 哲郎・別司 大典との共著）
…金沢大学経済学類社会言語学演習『論文集』第 8 卷(2013, pp. 1-25)所収

【卒業論文】

- 中村 明修 「雑誌記事の見出しから見る対象読者による言語使用の違い」

< 2009 年修了生（修士課程修了第 1 期生） >

【修士論文】

- 尹 秀美 「夫婦間の呼びかけ表現の日韓比較 ——コンテキスト化の合図という観点から——」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 4 卷(2009, pp. 25-106)

< 2014 年修了生（修士課程修了第 2 期生） >

【修士論文】

- 王 一帆 「言語景観における漢字表記 ——台北・香港・上海市・北京市の調査から——」

< 2012 年修了生（博士課程修了第 1 期生） >

【博士論文】

- 尹 秀美 「A Contrastive Study of Responsibility for Understanding Utterances Between Japanese and Korean: Apologies and Requests」

要旨はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/bitstream/2297/32069/1/HS-DTP-2012-1-6.pdf>

*

【金沢大学経済学部社会言語学演習発行『論文集』】

『論文集』第1巻（2006） 目次

磨矢 順子

しつけ言葉から探る『理想的』人間像・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

しつけ言葉から探る日本人とドイツ人の行動基準・・・・・・・・・・27

小長谷 春奈・佐藤 まりか・田中 千尋・堀田 真莉

ステッカーから見る「物言わぬ日本人」・・・・・・・・・・・・・・・・65

『論文集』第2巻（2007） 目次

小長谷 春奈・佐藤 まりか・田中 千尋・堀田 真莉

諸外国との比較から見る「物言わぬ日本人」・・・・・・・・・・・・1

小長谷 春奈

女性の話し言葉に対する社会の圧力の変化・・・・・・・・・・・・31

田中 千尋

「私、ホントに結婚できるのかしら？」

—「読者」は表紙コピーと会話する—・・・・・・・・・・・・47

堀田 真莉

「信頼を裏切り申し訳ありません」

—謝罪会見記事からみる職業と人格—・・・・・・・・・・・・65

尹 秀美（ユン・スウミ）

日韓の夫婦間の呼びかけ表現

—先行研究の問題点と今後の展望—・・・・・・・・・・・・85

『論文集』第3巻（2008） 目次

鍵主 智美

お母さんなわたしと太郎君なぼく

—日本語教科書における男女の表現について—・・・・・・・・・・1

鍵主 智美	
「やさしさ」の意味変化	
—辞書記述に基づく語義分析—	19
尹 秀美 (ユン・スウミ)	
呼びかけ表現の使用パタンの日韓比較	
—インターネットサイト上のメッセージを例に—	37
윤 수 미 (尹 秀美)	
한·일 부부간 직접호칭 표현	
[日韓の夫婦間の呼びかけ表現]	
—선행연구의 문제점과 앞으로의 전망—	
[—先行研究の問題点と今後の展望—]	49
西嶋 義憲	
コミュニケーション行動制御慣用表現の日独対照研究のために	
—視点の違い—	63

『論文集』第4巻(2009) 目次

鍵主 智美	
国語教科書と日本語教科書の比較	
—ジェンダーの視点から—	1
尹 秀美	
夫婦間の呼びかけ表現の日韓比較	
—コンテキスト化の合図という観点から—	25

『論文集』第5巻(2010) 目次

尹 秀美	
話し手責任と聞き手責任	
—発話理解における話し手の貢献度の	
日韓比較—	1
尹 秀美	
日本人と韓国人の発話理解の責任主体	
—テレビドラマの会話分析に基づいて—	21

Sumi YOON (尹 秀美)

Can fillers function as contextualization cues in a Japanese conversation?
—Based on comparison of address terms
in Japanese and Korean— 39

『論文集』第6巻(2011) 目次

尹 秀美

謝罪表現における発話理解の責任主体の日韓比較
——英語学習の影響—— 1

楊 一林

目上への「ほめ」行動について 19

<資料>

西嶋 義憲

「お見通し」発言とその翻訳
——資料集—— 33

『論文集』第7巻(2012) 目次

孫 羽

曖昧性の視点から日本語の特徴を見る
——曖昧さの下位分類を踏まえて—— 1

王 一帆

「こんな名前なら買う！」
——商品の命名に関する日中比較のための予備的考察—— 27

楊 一林

中国人話者の目上への「ほめ」行動について
——中国人大学生を調査対象として—— 39

『論文集』第8巻(2013) 目次

中村 明修・横田 哲郎・別司 大典

金沢市中心街の言語景観
——観光地・商業地・市役所の調査—— 1

王 一帆
言語景観における慣用表現
——台北・香港・上海・北京の比較調査—— 27

王 一帆
言語景観としての店名表示
——台北におけるスナック・クラブの調査—— 45

<資料>

西嶋 義憲
交通標識の日独比較のために 57

上記『論文集』各巻所収の論文はつぎのサイトからダウンロード可能：
<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/17070>

【他誌掲載論文など】

尹 秀美:「呼びかけ表現を好む韓国人、呼びかけ表現を避ける日本人 —コン
テキスト化の合図という観点から—」神田外語大学韓国語学会『韓国語学
年報』4, 2008, pp.21-31.

Sumi YOON: “Comparison between Korean and Japanese address terms as
contextualization cues in husband-wife's dialogue.” *Inquiries into Korean
Linguistics III*, 2008, pp. 377-387.

Sumi YOON: “Can fillers function as contextualization cues in a Japanese
conversation? – Based on comparison of address terms in Japanese and
Korean –.” Shizuoka: Paper presented at the 10th Annual International
Conference of the Japanese Society for Language Sciences (JSLS), 2008.

Sumi YOON: “A Contrastive Study of Metacommunicative Functions of Address
Terms between Husband and Wife in Korea and Japan.” *Current Issues in Unity
and Diversity of Languages*, 2008, pp. 3819-3831.

Sumi YOON: “Speaker-responsibility and hearer-responsibility: A comparison of
speaker’s contribution to understanding in a conversation in Japanese and
Korean.” Kumamoto: Paper presented at the 15th Annual Conference of

International Association for Intercultural Communication Studies (IAICS), 2009.

尹 秀美：「話し手責任と聞き手責任—発話理解における話し手の貢献度の日韓比較—」金沢大学大学院人間社会環境研究科「プロジェクト研究を通じた自立的研究者養成」平成 21 年（2009 年）度プロジェクト研究成果報告，2010，pp. 119-124.

Sumi YOON: “English as Cultural Resource: Influence on Ways of Speaking in Japanese and Korean” 金沢大学国際文化資源学研究センター『文化資源学研究』1号，2011，pp. 103-108.

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://crs.w3.kanazawa-u.ac.jp/other/publication.html>

尹 秀美：「発話理解における話し手責任の日韓比較—謝罪場面での発話量および表現形式を中心に—」神田外語大学韓国語学会『韓国語学年報』7号 2011，pp. 1-17.

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

http://ci.nii.ac.jp/vol_issue/nels/AA12161738/ISS0000475623_ja.html

Sumi YOON: “Is Korean Really a Listener-Responsible Language like Japanese?: A Contrastive Analysis of Discourse in Apologies between Korean and Japanese” *Acta Linguistica Asiatica*. 1(3), 2011, pp. 73-94.

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：

<http://revije.ff.uni-lj.si/ala/article/view/35>

Sumi YOON: “Who is Responsible for Understanding in a Conversation?: A Contrastive Pragmatic Analysis of Utterances in Japanese and Korean” *Indian Journal of Applied Linguistics (IJAL)*, 38, 2012, pp. 123-142.

尹 秀美：「韓国人夫婦はお互いをどう呼び合うか？—夫が妻を呼ぶ時—」金沢大学国際文化資源学研究センター『文化資源学研究』第 4 号，2012，pp. 103-106.

楊 一林：「中国社会における「ほめ」文化の変容—文化資源学の観点から—」金沢大学国際文化資源学研究センター『文化資源学研究』第 4 号，2012，pp. 120-126.

王 一帆：「言語景観における漢字使用 —台北・香港・上海市・北京市の調査から」

金沢大学国際文化資源学研究センター『文化資源学研究』第 12 号, 2013,
pp. 73-182.

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能:

<http://crs.w3.kanazawa-u.ac.jp/other/publication.html>

*

【図書】

尹 秀美 : *A Contrastive Study of Responsibility for Understanding Utterances between Japanese and Korean.*
東京: ひつじ書房, 2014.